



OSAKA JAPAN

..... 国際ロータリー第2660地区 ■吹田江坂ロータリークラブ.....  
**SUITA ESAKA ROTARY CLUB**  
**CLUB WEEKLY BULLETIN**

創立年月日 / 1990.2.27  
事務所 / 〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号 (大同生命江坂ビル12F)  
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場 / 新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日 / 毎週火曜日 12:30~13:30  
会長:八橋志夫 幹事:木元良三 会報委員長:飛田昭男

◇ 2008年9月16日 第878回例会(第877号) ◇

☺ 本日の例会 ☺

今週の歌 「ロータリーって何だろう」

クラブアッセンブリー

「公式訪問に向けて」

木元良三 幹事

☺ 次回例会のお知らせ(9月30日) ☺

国際ロータリー第2660地区

川西靖裕ガバナー補佐訪問

「クラブ協議会」

前回〔9月9日〕例会記録

■ 来 客 ■

新田 恭子 さん (チームライラ)

会長の時間

八橋 会長

政界も大変模様です。角界も大変模様です。政界、角界の常識は世の中の非常識だとつくづく思います。ロータリークラブの常識は世の中の良識でありたいと思います。

先週9月5日の金曜日、16:00に堺の友達と会うために阪神高速で堺に向かっていました。途中突然雷が鳴り出し、空が真っ暗になり、それと同時にバケツをひっくり返したような雨が来ました。あ〜と言う間に高速道路の路面には水が溜まりました。なんとか出口までたどり着くことが出来ました。出口はご承知のように坂道になっていますので水もなく安堵したのですが、しかし少し進むと高速の高架下、<sup>おきなぼし</sup>翁橋付近は大渋滞。それもそのはず、数台の車が水没状態でした…。

水害に遭われた様をテレビで見ますが、まさにそ

■ 出席報告 ■

山崎 委員長

【9月9日】

在籍会員 41名 (内出席規定適用免除者 10名)

出席会員 31名 (内出席規定適用免除者 6名)

ホームクラブ出席率 83.78%

8月19日のMUを含む出席率 97.44%

の様です。車のエンジンが止まるのは、マフラーから水が浸入し酸欠状態になるからエンジンが止まる。以前テレビでやっていたことを思い出しました。なんとしてもマフラーに水が入らないよう排気と走行をしなくてはならないのですが、マフラーに水の入らない排気と走行の仕方なんてわかりません。左車線を走っていた市バスが急に私の前に車線変更をしてきました。見るとその左車線にはエンジントラブルの車が停車していて市バスが通行出来なかったようです。私の車には対物センサーが付いているようで、車内はピーピーのうるさい音が鳴りっぱなしでした。車線変更してきた市バスのすぐ後を走行しましたが、想像してみてください…市バスが船のように進むのです。水をかき分け進むのです。左右車線を走行中の車は市バスから出る波を窓付近までかぶっていました。ゴミ箱が流され水面には缶、ペットボトルが浮いていました。反対方向の車線(高速入り口方面)はオーバーな話でなく警察の方が腰の近くまで水につかりながら交通規制をしておりました。大変だーと思いつつも何とかフェニックス通りの信号までたどり着く事が出来ました。そこは雨も少なく、路面も見えていました。ボンネットからは水蒸気と化した白煙が吹き出していました。しかしそれだけ水に浸かりながらも車内に水は入ってきませんでした。記録的な大雨で、堺では時間雨量93.5mmの観測史上最多を記録したようです。怖い経験でした。

## 幹事報告

木元幹事

◎平成20年度地域安全・青少年吹田市民大会の案内

日時：10月9日(木) 10:00～12:00

場所：メイシアター

渡邊(眞)奉仕活動委員長よろしく申し上げます。

## ニコニコ箱

内田会員 前回欠席のお詫び。

## 親睦活動委員会

寺井委員長

第1回 情報集会&新会員歓迎会のご案内

本年度第1回目の情報集会と新会員2名(新井会員・成松会員)の歓迎会を下記の通り開催させていただきます。何かとお忙しいこととは存じますが、多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

日時：10月9日(木) 午後6時30分より

場所：寿司・割烹『うを七』西店

吹田市豊津町10-27 TEL 06-6386-1510

会費：6,000円ポッキリ

## 奉仕活動委員会

杉本副委員長

(職業奉仕担当)

クラブ職業奉仕委員長会議出席の報告

日時：8月30日(土) 13時30分～16時

場所：ホテルヴィアール大阪

会議は地区83クラブ(欠席3クラブ)の職業奉仕担当委員長が出席し開催された。

プログラムのメインは、

①「情報技術の光と影」という演題で

独立行政法人 情報通信研究機構

理事長 宮原 秀夫 氏

②「職業奉仕の精神と実践」

パストガバナー 神崎 茂 氏

③「職業奉仕の心」の配布とアンケートのお願い

地区職業奉仕委員長 畑田 耕一 氏

以上3講師による講演でした。

宮原先生のお話しは、

人々は今、膨大は情報の洪水に飲み込まれようとしており、このままでは知の創生からかけ離れてしまうのではないかと、との危惧から「情報爆発」という言葉が使われるようになってきていること。また溢れた情報の中、ビジネスや研究等の場において検索に要する時間が全仕事量の30%を占め、何か知りたいことがあると家族や友人に尋ねるよりウェブに頼るといふ人が75%にも及ぶ、というようなお話しをされ、このような情報爆発の時代、

インターネットの情報活用について幾つかの観点からお話しをされました。

神崎PGの講演は、

主として出前授業についてご自身の経験をふまえてお話しされました。

畑田地区委員長からは、

全クラブから職業奉仕活動の過去3年間の実績と本年度の計画等についてアンケートの提出を求められました。

以上の通りですが、今回出席して得た知識・情報は、10月の職業奉仕月間に予定している私の卓話に引用させていただきます。

## 卓話

「国際RYLAに参加して」

新田 恭子 さん

(チームライラ)



この度は、2008年国際RYLAに参加させていただきまして誠にありがとうございました。

私は、2006年に、大阪2660地区春の初級RYLAと秋の上級RYLAに参加しました。2007年からチームRYLAのメンバーとして、RYLAに参加させていただいております。そして、今年の夏、前年度国際RYLAに参加された国宗さんから、お声をかけていただきまして、泉様、西上様はじめ、2660地区ガバナー事務所の皆様方の温かいご支援の下、本年度の国際RYLAに参加することになりました。

(1) 概要

開催日程：2008年6月12日～15日

開催場所：Mount Saint Mary's College Chalon  
Campus in Los Angeles, California

参加人数：約121名、カウンセラーというチーム  
についてくださるスタッフが約27名

日本からの参加者：9名、カウンセラー1名、  
国際RYLA運営委員1名

## (2) プログラム

研修は、9時からプログラムがスタートしました。夜は、10時半ごろまでありました。朝食はそれまでに各自済ませます。

夜の10時半以降のフリータイムは、皆が自由に、話をしたり、お菓子を食べたり、ダンスをしたり？して過ごしていました。

リーダーシップという大きなテーマの中で、3日間を通して、様々なプログラムが用意されていました。カウンセラーによるプレゼンテーション、グループディスカッション、ゲーム、ロールプレイングなどを通して、リーダーシップについて考えました。

アクティビティでは、ロータリアンが取り組んでいる発展途上国への支援プロジェクトを実際に体験しながら、その意義について考え、良い点や悪い点などの意見を述べ合いました。

また、毎夜、5分ずつくらい自国紹介があり、我々日本人も即興で考えて発表しました。

国際RYLAならではのと思いますが、食事の時間や空いている時間は、参加者全員と自由に交流することができ、ロータリアンやカウンセラーたちが特に関与することはありませんでした。消灯の時間も無く、責任は個人に任せているということがはっきりとしていました。

## (3) 所感

3日間、貸しきりのキャンパスは、エネルギーに満ち溢れており、皆が積極的にRYLAに参加していました。

当たり前ですが、時間に遅れたり、グループの輪を乱すような人は、ほとんどいなかったようです。

特に驚いたのは、プレゼンテーションのあとに、必ず質問が出ることです。

基調講演をしてくださった方にも、カウンセラーのプレゼンテーションにも、みんな積極的に質問をしていました。また、質問を受けた側もとても丁寧に答えていました。

ジョークもとても上手でした。そうやって場の雰囲気や和ませながら、参加者とコミュニケーションをとっていました。

私のグループは、とてもまとまりがよく、英語が苦手な私をととても気に掛けてくれました。年齢は18歳から30歳まででしたが、フェスティバルナイト（グループごとに出し物を用意する）の準備でも、それぞれの意見を尊重しながら内容を考えていました。

また、3日目の最後のグループセッションでは、自分の名前を書いた白い紙に、メンバー全員が一言ずつ、その人を表す「前向きな言葉」を書くということをしました。

これは、とても感動しました。

書き終えた後、みんなで芝生の上に円になって座りながら、書いてもらった言葉を胸に刻みました。3日間という時間は、とても長く、非常に充実した時間を感じられました。

おそらく、みんな幸せだったと思います。普段生活している環境は違うけれども、3日間一緒に過ごして、何か心の中に繋がるものができたと思います。

同世代の若者達の価値観に触れることで、自分の思考が豊かになっていくと思いました。

また、エネルギッシュな精神に刺激を受けることで、自分を奮い立たせることができました。

私は、今回参加させていただいて、人生の中でも忘れられない素晴らしい機会を与えていただきました。もちろん、日本のRYLAも、貴重な機会ですが、やはり他国の文化や価値観を知り、触れることで、視野を広げることができました。

今後は、私もこういった交流の機会を作るお手伝いをしていきたいと思いました。そして、人の役に立てる大人になっていきたいと思います。

## ロータリーって何だろう

ロータリーって何だろう  
みんな知らない道だから  
真実かどうか探してる  
奉仕の為に集まれる  
不思議な集いロータリー

ロータリーって何だろう  
みんな知らない道だから  
公平かどうか探してる  
好意と友情求めつつ  
不思議な集いロータリー